

燃料電池ごみ収集車運用事業について

このたび多摩市は、東京都が募集した「水素社会実現に向けた燃料電池ごみ収集車運用事業」に応募し、事業の実施自治体に決定しました。今後2か年にわたり、多摩市内で燃料電池ごみ収集車の実証実験を行います。

CO₂削減、静音性の向上、ごみ収集時の作業環境改善等に貢献する燃料電池ごみ収集車の運用を多摩地域で行い、導入効果を検証することで、早期実装化につなげていきます。

1 事業概要

- 事業期間：令和4年度～令和5年度
- 実施内容：多摩市内において、燃料電池ごみ収集車（1台）の試験運用（実際の収集ルートで走行・ごみ回収）を実施
- 実施時期：令和5年3月下旬から試験走行開始を予定。
実際の収集走行は令和5年4月～12月の間で合計7ヶ月程度を予定。

2 事業効果

- 燃料電池ごみ収集車の早期実装化（小型化・量産化）を促進
 - 廃棄物収集車両のゼロエミッション化に貢献
- 業務用車両における水素利用の促進
- 水素活用に関する周知・PR

※車両デザインは、変わります。



3 実施体制

- 東京都、多摩市、早稲田大学との共同事業として実施
- 収集運搬（車両の運行）は、多摩市が外部委託

試験運用に係る協定

東京都

- ・ 事業全体の進行管理
- ・ 実施自治体に係る調整
- ・ 取組周知・PR

多摩市

- ・ 試験運用実施
- ・ 取組周知・PR

早稲田大学

- ・ 試験運用に係る調整
- ・ 車両の調達、保守等
- ・ 導入効果の検証

車両保守業者

- ・ 車両提供
- ・ 車両保守管理

架装保守業者

- ・ 車両保守管理(架装部分)

(※) 収集運搬は市が外部委託

委託業者
(多摩興運(株))

- ・ 開発車両を用いた収集運搬業務